

平成 26 年 8 月 4 日

静岡県水産技術研究所

シラス漁好転の兆し

- 関東・東海海況速報によると、7月31日から8月1日に遠州灘及び駿河湾西部で水温が上昇しました。137° 30′ ~138° Eにおける25°C等温線の位置をみると、7月31日の34° 5′ ~15′ N(図1)から8月1日の34° 30′ ~40′ N(図2)まで北上し、また、その東側は駿河湾内に進入し、湾西部は25~26°Cの水温帯に覆われました。
- 地頭方に設置した自動観測ブイによると、7月26日から8月1日の水深1m層水温は7月27日19:00から28日9:00では21°C以下でしたが、28日10:00以降昇温し、7月30日11:00から8月1日20:00の間は25°C以上を示しました(図3)。
- 7月のしらす漁は400kg/統/日以上的好漁日がほとんどなく低調でしたが、遠州漁協所属船の水揚量が7月29日に106kg/統/日であったものが31日には478kg/統/日に増加しています。
- 今後、暖水の波及があった際に、シラス漁が好転する可能性があります。

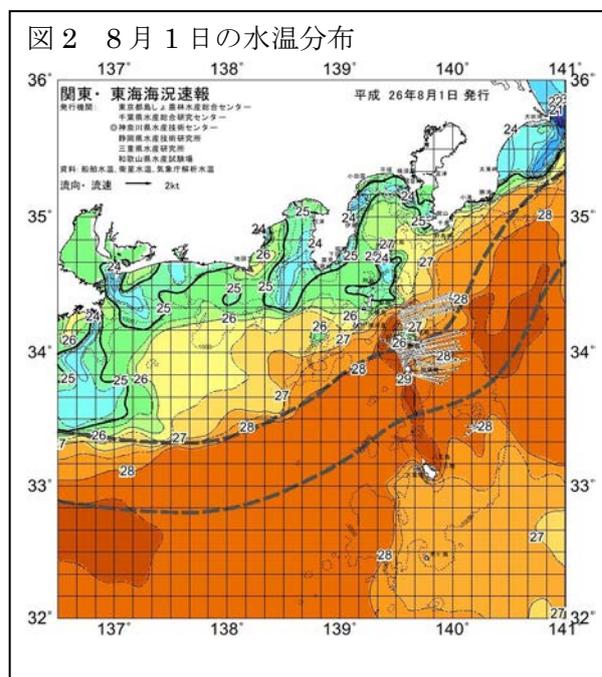
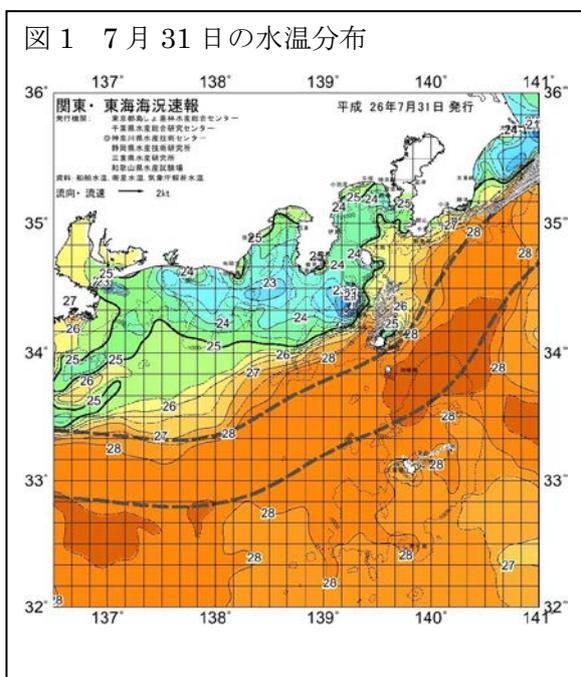


図3 地頭方地先水温の経時変化(平成26年7月26日から8月1日)

